ドローン活用幅広く

つがるの専門社 販売から講習、フォローアップまで

独自資格で業務委託検討 農閑期の収入増に

ドローンを点検する宮島代表取締役（左）ら

ドローンの販売から技術習得、その後のフォローアップまで一貫して行っている、つがる市牛潟町の「V－farms」（宮島裕介代表取締役）。市内唯一のドローン専門会社で、販売からフォローアップまで対応しているのは県内でも珍しいという。同社は将来的に、技術を習得した農家が他分野の業務でも活躍できるように独自の資格制度を導入し、農閑期の収入増加にもつなげたいと考えだ。（吉田和華子）

ドローンは近年、空撮だけでなく、薬剤散布などの農業分野、測量、構造物の点検など幅広い分野で活用への期待が高まっている。同社は、そういった需要増加を見据え、同市の建設業「会津建設」が行っていた業務内容を独立させて昨年秋に株式会社化した。

同社では薬剤散布や測量、構造物点検、空撮などの業務を請け負っているほか、ドローンの導入に向けたサポートから技術取得のための講習なども行う。自社の飛行場で技術取得後の練習や確認作業なども可能となっている。

農業が盛んな地域でICT（情報通信）技術を活用したスマート農業が推進されていることもあり、これまでに技術を取得した人の多くは農家。農閑期の収入増加につなげようと、将来的には点検や測量など農業以外の分野で同社が請け負っている業務を技術習得者へ委託することも考えている。技術の習熟度やコミュニケーション能力、法律の理解などを踏まえた5段階の独自資格のようなものを設け、段階に応じて業務を委託していく予定。

宮島代表取締役は「点検にしても測量にしてもドローンは新しい形でのインフラを支えていくような事業にもなるのではないか。農家の役に立つことはできる限り導入していきたい。業務委託により、農家の冬季の収入補塡にもつなげていければ」と話す。

ドローンの活用は産業だけにとどまらず、小回りが利くことから災害時の対応でも期待が大きい。同社では全国的に展開する夜間捜査支援サービス「NIGHT HAWKS」にも県内唯一の民間企業として参加。人手、ヘリコプターと終盤、両者が各8時間の持ち時間を使い果たし、1分以内に指し手を進める熱挑戦する第71期王将戦7番勝負の第1局が9、10の両日、静岡県掛川市で指され、10日は参加者が2グループに分かれ、約300㎡の近い場所があった。

除雪作業に取り組む参加者たち

G・グローブの非英語映画賞

「ドライブ・マイ・カー」

【ロサンゼルス時事】米アカデミー賞の前哨戦となる第79回ゴールデン・グローブ賞（ハリウッド外国人記者協会主催）の各賞が9日（日本時間10日）発表され、濱口竜介監督（43）の「ドライブ・マイ・カー」が非英語映画賞を受賞した。よると、日本映画は違って日没後も捜索活動ができるドローンの利点を生かし、遭難者の早期発見に貢献したい考えだ。

濱口竜介監督の映画「ドライブ・マイ・カー」の一場面©2021「ドライブ・マイ・カー」製作委員会

（17）が警視庁で一日通信指令本部長を務めた。「事件事故は110番、悩み心配で「落ち着いて答えてください」け、被害状況や徴などを聞き取最寄りの警察署に急行するよう出した。

同庁によると

獲得するのは、の「鍵」が外国受賞して以来62は、3月に授賞るアカデミー賞編映画賞部門の選ばれており、に弾みをつける

た。

村上春樹さん小説が原作。妻失感にさいなまが、ある過去を

自治宝くじ第5862回ナンバーンドリーム館）

758
0円　（112口）

新型コロナウイルス流

000円、飲食店が90　万円を上限に、商品開発　川町）は、県工業技術セ　ンで高知のフルーツを前　オリジナルの酒を提供し